



## 平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 加藤製作所

コード番号 6390 URL <http://www.kato-works.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 公康

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長 (氏名) 高橋 啓二

TEL 03-3458-1130

四半期報告書提出予定日 平成24年11月9日

配当支払開始予定日

平成24年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	25,349	0.6	384	△69.0	249	△79.3	104	△87.8
24年3月期第2四半期	25,205	13.1	1,242	—	1,208	—	854	265.5

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △392百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 569百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	1.78	—
24年3月期第2四半期	14.57	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	82,641	32,261	39.0
24年3月期	86,176	32,947	38.2

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 32,261百万円 24年3月期 32,947百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	3.00	—	5.00	8.00
25年3月期	—	4.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	3.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	58,000	0.7	1,200	△62.3	1,100	△67.0	500	△81.1	8.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料4ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	58,717,936 株	24年3月期	58,717,936 株
25年3月期2Q	109,221 株	24年3月期	108,585 株
25年3月期2Q	58,609,125 株	24年3月期2Q	58,611,383 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災からの復興需要にも支えられ、緩やかな回復傾向がみられましたものの、終盤には中国をはじめ周辺諸国との種々の問題から、経済面において減速感が増加してまいりました。また、米国景気や、欧州経済に対する不透明感から、引き続き円高・株安の状態が続くなど、総じて厳しい状況にて推移いたしました。

当社グループの事業環境は、中国での経済成長の鈍化とともに対日感情の悪化も重なり、油圧ショベル需要が前年同期に比べ40%程低下するなど、極めて厳しい状況となりました。一方で、国内の建設用クレーン及び油圧ショベルにつきましては、東日本大震災の復興需要の下支えもあり、ようやく回復の兆しがみえてまいりました。このような状況下、当社グループは、積極的な営業活動を推進いたしましたものの、中国の急激な悪化と、小型機械に集中した建設用クレーン需要から、予想を下回る厳しい業績となりました。

当第2四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高253億4千9百万円（前年同期比100.6%）、営業利益は前年同期の12億4千2百万円から大きく減少し、3億8千4百万円（前年同期比31.0%）、経常利益2億4千9百万円（前年同期比20.7%）となり、四半期純利益は1億4百万円（前年同期比12.2%）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 日本

日本においては、東日本大震災の復興需要から、建設用クレーンおよび油圧ショベルは、中小型機械が中心ではありますが、ようやく回復傾向となってまいりました。一方、欧州をはじめ海外の経済が精彩を欠く中で、引き続き円高状態が続いたことから、アジア・アフリカ等の新興国をはじめ、輸出売上全体が大きく落ち込み、伸びのない厳しい結果となりました。売上高は233億9千8百万円（前年同期比99.9%）となり、セグメント利益（営業利益）は5千4百万円（前年同期比9.7%）となりました。

② 中国

中国における油圧ショベルの需要は、中国国内の経済政策による減速傾向とともに、日中間における諸問題も影響し、急激に悪化してまいりました。売上高は36億2千1百万円（前年同期比59.0%）となり、セグメント利益（営業利益）は3億3千万円（前年同期比46.2%）となりました。

主要品目別の業績を示すと、次のとおりであります。

① 建設用クレーン

東日本大震災の復興需要から、台数的には大きく増加してまいりましたものの、大型機械の需要が予想を下回りましたことから、力強さに欠ける状況となっております。売上高は157億6百万円（前年同期比125.0%）となりました。

② 油圧ショベル等

中国での需要は急激に減速いたしました。その他の海外地域におきましても力強さはみられません。国内においては、復興需要もあり、増加傾向となってまいりました。売上高は93億8千9百万円（前年同期比76.0%）となりました。

③ 路面清掃車等

路面清掃車等につきましては、売上高2億5千2百万円（前年同期比89.7%）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

(資産の状況)

総資産は、前連結会計年度末に比べ35億3千5百万円(4.1%)減少し、826億4千1百万円となりました。これは、主として現預金の減少19億3千5百万円と、受取手形および売掛金の減少29億9千9百万円等の減少要因と、たな卸資産の増加16億7百万円等の増加要因によるものであります。

(負債の状況)

負債合計は、前連結会計年度末に比べ28億4千8百万円(5.4%)減少し、503億7千9百万円となりました。これは、支払手形・買掛金が13億3千4百万円、短期・長期借入金が12億1千5百万円減少したことが主な要因であります。

(純資産の状況)

純資産は、前連結会計年度末に比べ6億8千6百万円(2.1%)減少し、322億6千1百万円となりました。これは、四半期純利益の計上による1億4百万円の増加要因と、配当金の支払い2億9千3百万円および、その他の包括利益の減少4億9千6百万円等の減少要因によるものであります。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は119億2千2百万円となり、前連結会計年度末と比較して19億3千5百万円の減少となりました。各キャッシュ・フローの状況につきましては、つぎのとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金は、1億5千9百万円の増加となりました。その主な要因は、売上債権の減少26億1千1百万円等の増加要因と、仕入債務の減少11億1千5百万円および、たな卸資産の増加19億5千4百万円等の減少要因によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、3億4千5百万円となりました。その主な要因は、工場関係の機械設備等の取得3億4千8百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金は、15億1千万円の減少となりました。その主な要因は、長期借入金の増加11億円の増加要因と、長期借入金の返済23億1千5百万円および、配当金の支払い2億9千4百万円等の減少要因によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の業績は、予想を大きく下回るものとなりました。通期の業績といたしましても、国内におきましては、震災復興需要から、建設用クレーンおよび油圧ショベルともに堅調に推移するものと思われませんが、海外におきましては、中国での油圧ショベル需要をはじめ、その他の地域におきましても厳しい状況が続くものと予想されます。このような状況を踏まえ、平成24年11月5日に業績予想を修正しております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益にあたる影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,858	11,922
受取手形及び売掛金	37,150	34,150
たな卸資産	22,466	24,074
繰延税金資産	1,111	895
その他	966	853
貸倒引当金	△790	△607
流動資産合計	74,762	71,288
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,522	3,835
機械装置及び運搬具(純額)	1,172	1,125
土地	2,744	2,744
建設仮勘定	499	132
その他(純額)	174	180
有形固定資産合計	8,112	8,017
無形固定資産	110	94
投資その他の資産		
投資有価証券	1,448	1,436
破産更生債権等	1,069	1,047
繰延税金資産	538	616
その他	1,204	1,225
貸倒引当金	△1,069	△1,085
投資その他の資産合計	3,191	3,241
固定資産合計	11,413	11,352
資産合計	86,176	82,641

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,588	19,253
短期借入金	9,605	9,605
1年内返済予定の長期借入金	4,215	4,401
未払法人税等	147	46
割賦販売前受利息	1,340	1,201
賞与引当金	446	434
製品保証引当金	298	210
その他	722	764
流動負債合計	37,363	35,917
固定負債		
長期借入金	14,535	13,133
退職給付引当金	730	719
役員退職慰労引当金	595	604
その他	4	4
固定負債合計	15,865	14,461
負債合計	53,228	50,379
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,935	2,935
資本剰余金	7,109	7,109
利益剰余金	22,848	22,659
自己株式	△25	△26
株主資本合計	32,868	32,678
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	42	30
為替換算調整勘定	37	△447
その他の包括利益累計額合計	79	△417
純資産合計	32,947	32,261
負債純資産合計	86,176	82,641



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	25,205	25,349
売上原価	21,500	22,500
売上総利益	3,704	2,848
販売費及び一般管理費	2,462	2,464
営業利益	1,242	384
営業外収益		
受取利息	3	15
割賦販売受取利息	280	270
受取配当金	6	6
持分法による投資利益	7	7
貸倒引当金戻入額	0	80
製品保証引当金戻入額	—	87
その他	37	20
営業外収益合計	335	488
営業外費用		
支払利息	200	228
為替差損	143	366
その他	24	27
営業外費用合計	369	623
経常利益	1,208	249
特別利益		
固定資産売却益	—	11
特別利益合計	—	11
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	25	0
特別損失合計	25	0
税金等調整前四半期純利益	1,182	260
法人税、住民税及び事業税	87	27
法人税等調整額	240	128
法人税等合計	328	156
少数株主損益調整前四半期純利益	854	104
四半期純利益	854	104

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	854	104
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5	△10
為替換算調整勘定	△277	△485
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	△1
その他の包括利益合計	△284	△496
四半期包括利益	569	△392
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	569	△392
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,182	260
減価償却費	337	301
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△32	△128
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△0	△11
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	0	9
受取利息及び受取配当金	△10	△22
支払利息	200	228
為替差損益(△は益)	84	325
持分法による投資損益(△は益)	△7	△7
割賦販売前受利息の増減額(△は減少)	78	△138
固定資産売却損益(△は益)	—	△11
固定資産除却損	25	0
売上債権の増減額(△は増加)	△1,347	2,611
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,380	△1,954
仕入債務の増減額(△は減少)	2,750	△1,115
未払費用の増減額(△は減少)	42	23
未収消費税等の増減額(△は増加)	27	176
その他	126	△70
小計	77	479
利息及び配当金の受取額	11	23
利息の支払額	△206	△229
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△150	△113
営業活動によるキャッシュ・フロー	△267	159
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△509	△348
有形固定資産の売却による収入	—	27
無形固定資産の取得による支出	△6	△1
その他	△29	△23
投資活動によるキャッシュ・フロー	△545	△345
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,160	—
長期借入れによる収入	3,800	1,100
長期借入金の返済による支出	△2,038	△2,315
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△146	△294
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,774	△1,510
現金及び現金同等物に係る換算差額	△38	△239
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,923	△1,935
現金及び現金同等物の期首残高	12,860	13,858
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,783	11,922

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	中国	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	19,065	6,140	25,205	—	25,205
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,349	—	4,349	△4,349	—
計	23,415	6,140	29,555	△4,349	25,205
セグメント利益	555	715	1,271	△29	1,242

(注) 1 セグメント利益の調整額には主としてセグメント間未実現利益消去△29百万円が含まれております。

2 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	中国	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	21,727	3,621	25,349	—	25,349
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,670	—	1,670	△1,670	—
計	23,398	3,621	27,019	△1,670	25,349
セグメント利益	54	330	384	0	384

(注) 1 セグメント利益の調整額には主としてセグメント間未実現利益消去等0百万円が含まれております。

2 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。